

## 5 今後の取組

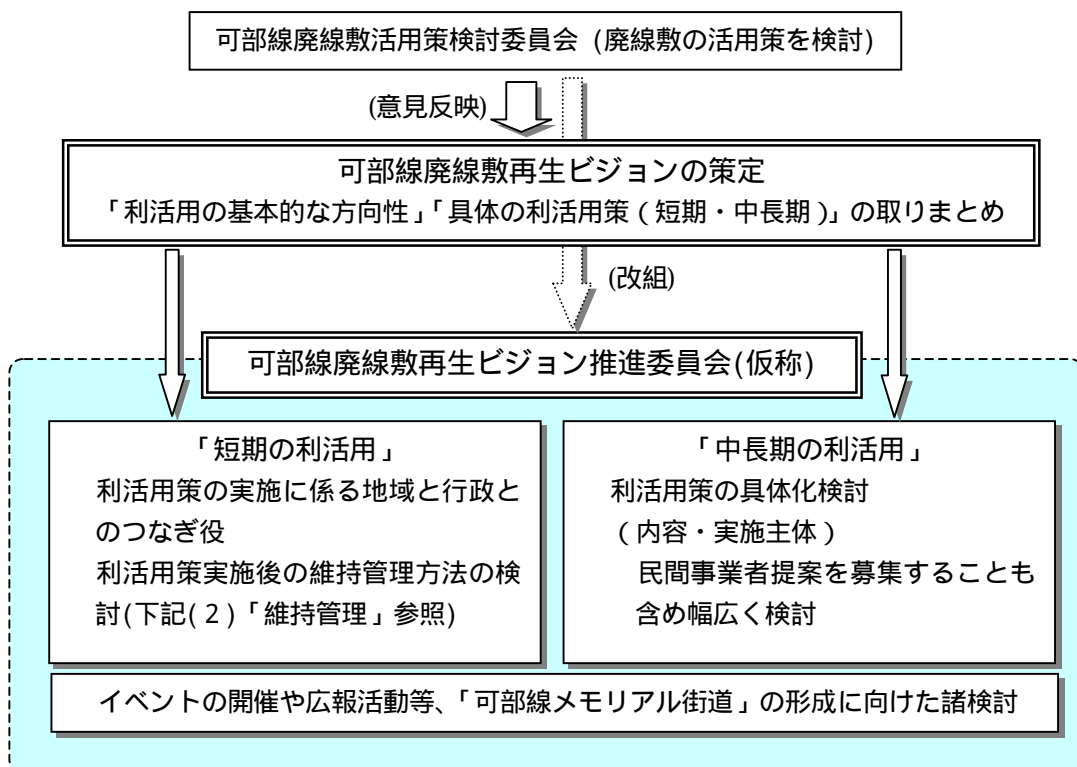
### (1) 再生ビジョンの実現に向けた取組

可部線廃線敷の利活用に当たっては、地域住民と行政がそれぞれ主体性を持つとともに、それぞれの役割に応じて積極的に参画し、連携していく必要があります。

今後も引き続いて、地域住民と行政による検討の場（可部線廃線敷活用策検討委員会を改組し、可部線廃線敷再生ビジョン推進委員会(仮称)を設置）において、ビジョンの実現に向けた取組を進めます。

（下図「ビジョンの実現に向けた取組のイメージ」参照）

#### 【ビジョンの実現に向けた取組のイメージ】



### (2) 維持管理

廃線敷内の清掃や除草は、今後の大きな課題であり、地域組織や活動グループなど沿線地域の協力のもとで、適切な維持管理が行えるように、今後、新たな仕組みづくりに取り組みます。

#### 【地域住民と協力した美化清掃活動のイメージ】

